

# 令和4年度みやぎ21健康プラン推進協議会

日時：令和5年3月27日（月）

午後2時00分から午後3時30まで

場所：宮城県行政庁舎11階 第二会議室  
(Web 併用)

## 次 第

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 議 事

#### (1) 報 告

①第2次みやぎ21健康プランの概要と関連事業の取組状況について [資料1]

②令和4年宮城県県民健康・栄養調査の実施状況について [資料2]

#### (2) 協 議

①第2次みやぎ21健康プランの最終評価の方法について [資料3]

②第2次みやぎ21健康プランの最終評価と次期プラン策定スケジュール  
[資料4]

### 4 その他

### 5 閉 会

令和4年度みやぎ21健康プラン推進協議会出席者名簿

(任期：令和3年8月1日～令和5年7月31日)

(敬称略・五十音順)

氏名	所属・職名	備考
泉谷 信博	一般社団法人宮城県歯科医師会 副会長	WEB
薄井 啓	NPO 法人日本健康運動指導士会宮城県支部 支部長	欠
及川 みや子	宮城県食生活改善推進員協議会 理事	WEB
○奥村 秀定	公益社団法人宮城県医師会 副会長	WEB (R4.10.1~)
◎小坂 健	東北大学大学院歯学研究科 教授	会場
片倉 成子	公益社団法人宮城県栄養士会 会長	会場
金田 早苗	一般社団法人宮城県薬剤師会 常任理事	WEB
熊谷 知恵美	宮城県栄養士設置市町村連絡協議会 会長	WEB (R4.10.1~)
佐々木 秀美	公益社団法人宮城県看護協会 副会長	欠
佐藤 昌司	全国健康保険協会宮城支部 企画総務部長	欠
菅原 武	宮城労働局労働基準部健康安全課長	会場
中鉢 義徳	一般社団法人宮城県保育協議会 会長	WEB
辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科 教授	欠
樋口 英明	宮城県学校保健会 理事	WEB (R4.10.1~)
寶澤 篤	東北大学東北メディカル・メガバンク機構 教授	WEB

◎：会長 ○：副会長

事務局	健康推進課	課長	狩野 裕一
		技術副参事兼総括課長補佐	小原 由美子
		総括課長補佐	藤田 悦生
		技術補佐（食育・栄養班長）	狩野 和枝
		技術補佐（がん対策班長）	村上 めぐみ
		主幹（健康推進第一班長）	柴 淳子
		主幹（健康推進第二班長）	津田 道代
関係課室	教育庁教育企画室	主幹兼企画員（企画班長）	佐藤 博美
	教育庁保健体育安全課	課長補佐（学校保健給食班長）	佐藤 俊明
	保健福祉部医療政策課	主査（企画推進班）	相澤 優介
	薬務課	技術主任主査（監視麻薬班長）	青木 崇
保健所	仙南保健所	技術主査	高橋 恵
	大崎保健所	技術次長（健康づくり支援班長）	松本 紀子
	大崎保健所	技術主幹	鹿内 和佳子
	石巻保健所	技術主幹（健康づくり支援班長）	庄子 聡子
	気仙沼保健所	技師	白崎 葉子

# 第2次みやぎ21健康プランの概要

資料1

## 【概要】

本県の健康づくりの目指すべき目標と基本方向、県民の健康の増進に関する施策について定めたもの。

## 【計画の位置付け】

- ・健康増進法第8条に規定する「都道府県健康増進計画」
- ・地域医療計画などの個別計画と連携

## 【計画期間と進行管理】

平成25年度から令和5年度までの11年間

中間評価 平成28年～平成29年

最終評価 令和4年～令和5年

## 【計画の内容】

### ■基本理念

県民一人ひとりが生きがいをもち、充実した人生を健やかに安心して暮らせる健康みやぎの実現

### ■基本方針

健康寿命の  
延伸(\*1)

健康格差  
の縮小

一次予防  
の重視

ソーシャル  
キャピタルの  
再構築(\*2)

※1 健康寿命  
高齢者が認知症や寝たきりにならない状態で、介護を必要とせず生活できる期間

※2 ソーシャルキャピタル  
人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることができる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴。

### ■取組分野

1.重点的に取り組む分野：3分野	(1)栄養・食生活（アルコールを含む） (2)身体活動・運動 (3)たばこ
2.個別計画との連携分野：4分野 (宮城県地域医療計画等)	(4)ストレスの解消・休養 (5)がん (6)循環器疾患・糖尿病 (7)歯と口腔の健康

## 【中間評価結果】

- ◆重点目標の「減塩！あと3g」「歩こう！あと15分」「めざせ！受動喫煙ゼロ」に関する目標項目については、いずれも中間評価時点の状況では目標達成が難しく、さらに取組を強化する必要があるとされた。
- ◆メタボリックシンドロームの該当者と予備群を合わせた割合は少しずつ減少していたが、全国下位の状況が続いていた。

## 【後期（H30～R4）の目標等】

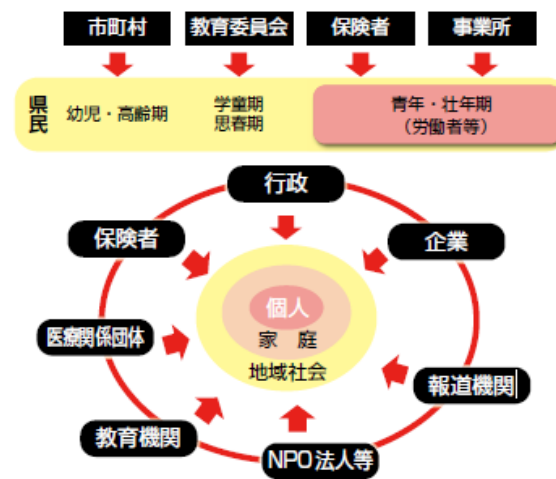
最重点目標：「歩こう！あと15分」

重点目標：「減塩！あと3g、野菜！あと100g」  
「めざせ！受動喫煙ゼロ」

## 【推進体制】

スマートみやぎ健民会議

～全ライフステージへ切れ目のない支援体制の構築～



# 令和4年度 健康づくり対策の推進

～スマートみやぎ健民会議を核とした健康づくりの展開～

スマートみやぎプロジェクト・働く人の健康づくりプラス推進事業・メタボリックシンドローム対策戦略事業  
 地域・大学連携による健康づくり対策促進事業・みやぎのデータヘルス推進事業

幼児期

学童期・思春期

青年期・壮年期（働き盛り・親世代）

高齢期

① スマートみやぎ健民会議を核とした県民運動の推進（推進基盤の強化、参加企業・団体の拡大・健康情報の発信、表彰等）

② 「脱メタボ！みやぎ健康3.15.0宣言」の取組による  
環境整備・普及啓発の強化

③ みやぎヘルスサテライトステーションの拡大（健康チェック、健康相談、健康情報発信等）

④ 子どもの健康なからだづくり推進事業  
※保健所健康づくり事業

親世代への同時発信

① ウォーキングプラス15推進事業（歩数アップチャレンジ2022）

全県展開

② ベジプラス100&塩eco推進事業  
（そうざい・弁当でベジプラス&塩eco、普及啓発）

① メタボ予防対策事業（関係機関・団体による企画・評価会議、連携事業（働く人の健康づくり）  
※保健所健康づくり事業

② 特定健診・特定保健指導実践者育成研修

① 地域・大学による健康づくり対策促進事業（みやぎヘルスリーダー育成講座）

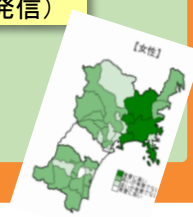
科学的根拠に基づいた実効性ある施策検討・評価

県民への見える化（わかりやすい健康情報の発信）

【生活習慣→生活習慣病→重症化→介護要因→死因】

分析結果説明会（関係機関向）

データ分析事業（圏域別、市町村別要因分析等）



社会的環境の整備

スマートみやぎ  
プロジェクト

働く人の健康づくり  
プラス  
推進事業

メタボリック  
シンドローム  
対策戦略事業

地域大学  
連携事業

保健・医療・介護  
情報の継続的  
分析

みやぎのデータ  
ヘルス推進事業

目標（結果）

全ライフステージを通じた切れ目のない支援体制の構築

## 第2次みやぎ21健康プラン関連事業について

県事業		令和3年度 取組状況	令和4年度 実績見込み	取組の方向性			
				正しい知識の普及と生活習慣改善意識の向上	生活習慣を改善する人が増加するための相談や体験の場の提供	社会環境の整備	
全県単位の社会環境の整備	スマートみやぎプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートみやぎ健民会議を核とした県民運動の推進 会員企業・団体、応援企業の拡大、健康情報の発信等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した会員、応援企業の募集（会員団体 908 団体、優良会員 11 団体、応援企業 48 団体※R4.3 月末現在）</li> <li>・みやぎ健康 3.15.0（サイコー）宣言の周知及び総合的な普及啓発</li> <li>・啓発資材の作成、活用した普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した会員、応援企業の募集（会員団体 928 団体、優良会員 20 団体、応援企業 49 団体※R5.2 月末現在）</li> <li>・健康づくり優良団体表彰【スマートみやぎ健民表彰】（大賞 1 団体 名取市、優良賞 2 団体 白石ポリテックス工業株式会社、多賀城市多賀モリ会）</li> <li>・みやぎ健康 3.15.0(サイコー)宣言の周知及び総合的な普及啓発（テレビ、ラジオ、SNS 等）、イベント※P5 のとおり</li> <li>・啓発資材の作成、活用した普及啓発</li> </ul>	○		○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●みやぎヘルスサテライトステーションの拡大 買い物等の日常生活の中で個人の健康づくりの実践をサポートする身近な拠点の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやぎヘルスサテライトステーションの拡大 登録施設数 126※R4.3 月末現在</li> <li>・健康情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやぎヘルスサテライトステーションの拡大 登録施設数 149※R5.2 月末現在</li> <li>・みやぎヘルスサテライトステーション事業費補助金交付（3 団体・4 施設）</li> <li>・健康情報の発信</li> </ul>	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの健康なからだづくり推進事業 子どもの頃からの健康な生活習慣の定着化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所においてメタボリックシンドローム対策戦略事業と併せ、保健所健康づくり事業として実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所においてメタボリックシンドローム対策戦略事業と併せ、保健所健康づくり事業として実施</li> </ul>	○	○	○
	働く人の健康づくりプラス推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウォーキングプラス15推進事業 歩きやすい環境整備、歩数増加のための仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングアプリの運用・利用拡大 登録者数 8,959 人※R4.3 月末現在（令和 4 年 3 月末で運用終了）</li> <li>・ウォーキングアプリの活用普及・広報の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩数アップチャレンジ(10～11 月)の実施(応援企業とコラボしたインセンティブの提供)</li> <li>・運動×社会貢献イベント(GPS ごみ拾い)の実施</li> </ul>	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベジプラス100&amp;塩 eco 推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中食・外食でベジプラス</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため中止。</li> <li>○普及啓発</li> <li>・ベジプラスロゴによる情報発信</li> <li>・普及啓発グッズの作成（パンフレット等）</li> <li>・ホームページ、SNS 等による情報発信</li> <li>○スマートみやぎ健民会議応援企業との活動</li> <li>・ベジプラスランチフェアを県庁内食堂で実施。（1 企業、3 回）</li> <li>・スーパーでのベジプラス棚の設置（4 店舗）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中食・外食でベジプラス</li> <li>・県内管理栄養士養成施設等から「みやぎベジプラスメニュー」のレシピを募集し（応募数 69 品、12 品を商品化、県内のコンビニ、スーパー、百貨店の 6 企業、358 店舗で販売。（R5. 2. 28～3. 14）</li> <li>・知事出席のもとメニュー提案者及び企業関係者を参集し、商品化発表会を実施。（R5. 2. 27）</li> <li>・ベジプラスメニューを食べて応募しようキャンペーンの実施(R5. 2. 28～3. 14)</li> <li>○普及啓発</li> <li>・量販店でのベジプラス普及啓発コーナーの設置</li> <li>・「みやぎベジプラスレシピ 2022」の HP 公開（7 企業、21 メニュー公開）</li> <li>・ホームページ、SNS 等による情報発信</li> <li>○スマートみやぎ健民会議応援企業との活動</li> <li>・ベジプラスランチフェアを県庁内食堂で実施。（2 企業、5 回）</li> <li>・スーパーでのベジプラス棚の設置（4 店舗）</li> </ul>	○	○	○

県事業		令和3年度 取組状況	令和4年度 取組状況及び取組予定	取組の方向性			
				正しい知識の普及と生活習慣改善意識の向上	生活習慣を改善する人が増加するための相談や体験の場の提供	社会環境の整備	
地域特性を踏まえた事業展開	みやぎ21健康プラン総合推進事業	●メタボリックシンドローム対策戦略事業 保健所健康づくり事業の実施	・各保健所において、企画・評価会議を開催し、地域の関係者と課題を共有し、協働で子ども及び働き盛り世代を対象とした事業を実施	・各保健所において、企画・評価会議を開催し、地域の関係者と課題を共有し、協働で子ども及び働き盛り世代を対象とした事業を実施	○	○	○
		健診・保健指導従事者育成事業の実施	・健診・保健指導従事者育成研修会の開催（知識・技術編，事業運営編 計2回）	・健診・保健指導従事者育成研修会の開催（知識・技術編 計1回）			○
		受動喫煙ゼロ作戦の推進	・受動喫煙防止宣言施設登録制度の普及（1,291施設 ※R4.3.1現在） ・みやぎ受動喫煙ゼロ週間でのパネル展示	・受動喫煙防止宣言施設登録制度の普及（1,297施設 ※R4.7.1現在） ・みやぎ受動喫煙ゼロ週間でのパネル展示	○		○
		●受動喫煙防止対策推進事業 健康増進法改正に伴う受動喫煙防止対策の見直し，円滑な法施行に向けた体制整備，周知・啓発等	・県政ラジオでの広報（R3.5,6月，R4.1,2,3月） ・「受動喫煙防止リーフレット」中学生版・高校生版の配布（約30,000部） ・受動喫煙防止宣言施設及びスマートみやぎ健民会議登録企業等に対し，受動喫煙防止の普及啓発用ポスター等の個別郵送を実施（329箇所） ・世界禁煙デー・禁煙週間・みやぎ受動喫煙ゼロ週間でのパネル展示 ・受動喫煙防止宣言施設登録制度の普及（1,291施設 ※R4.3.1現在）	・県政ラジオでの広報（R5.2,3月） ・新聞での広報（R4.8月） ・受動喫煙防止宣言施設及びスマートみやぎ健民会議登録企業等に対し，受動喫煙防止の普及啓発用ポスターの個別郵送を実施（429箇所） ・世界禁煙デー・禁煙週間・みやぎ受動喫煙ゼロ週間でのパネル展示 ・受動喫煙防止宣言施設登録制度の普及（1,297施設 ※R4.7.1現在） ・未成年の喫煙防止指導者研修会の開催（WEB配信）	○		○
		●食生活改善推進事業 食生活改善講習会の実施，食生活改善地区組織等の人材育成支援	・食生活改善講習会（宮城県食生活改善推進員協議会へ委託）は，新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ・食生活改善地区組織等の人材育成	・食生活改善普及事業の実施（宮城県食生活改善推進員協議会へ委託） ・食生活改善地区組織等の人材育成	○	○	○
		●みやぎ21健康プラン推進事業 健康増進計画進行管理，市町村健康増進計画推進支援，県民健康・栄養調査等	・各保健所における市町村健康増進計画推進支援（26市町村，延32回） ・プラン普及啓発 啓発資材の作成，活用した普及啓発	・みやぎ21健康プラン推進協議会（1回） ・みやぎ21健康プラン推進協議会有識者ワーキング（1回） ・各保健所における市町村健康増進計画推進支援 ・プラン普及啓発 啓発資材の作成，活用した普及啓発			○
		●地域栄養管理対策事業 市町村栄養業務支援，栄養・健康に関する食品表示の適正化指導等	・市町村栄養業務支援（15回，延138人） ・行政栄養士研修会は，新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ・食品表示法の栄養成分表示及び健康増進法の誇大広告禁止の普及啓発（15回，延603人），相談対応・指導（137件）	・市町村栄養業務支援 ・行政栄養士研修会の開催 ・食品表示法の栄養成分表示及び健康増進法の誇大広告禁止の普及啓発，相談対応・指導	○		○
保健・医療・介護情報の継続的分析	みやぎのデータヘルス推進事業	●みやぎのデータヘルス推進事業 データ分析による圏域別，市町村別状況の健康課題の見える化等	・データ分析 ・「データからみたみやぎの健康」の発行（報告書600部，概要版5,500部） ・分析結果説明会の開催	・データ分析 ・「データからみたみやぎの健康」の発行（報告書600部，概要版5,500部） ・分析結果説明会の開催			○

# 令和4年度 脱メタボ！みやぎ健康3.15.0宣言の取組

令和2年度「脱メタボ！  
みやぎ健康3.15.0宣言」  
から2年…。



令和4年,  
「宣言」から「行動」へ



ダンサー・振付師の  
「パイヤ鈴木」氏  
をキャスティング

コンセプト:  
身近なことから・エンタメ性・ポジティブ感

## ① 「健康3.15.0ダンスサイズ」 動画作成・配信



パイヤ鈴木氏の振付による、  
体を動かしたくなるエクササイズと  
「3.15.0宣言」の内容が伝わる  
動画を作成(伊達武将隊とコラボ)

簡単な動きと軽快な音楽で  
「楽しい健康づくり」をアピール

(R4.12月から配信)



(上記ポスターのQRコードから動画にリンク)

## ② 「脱メタボ！ゴミ拾い×GPSアート」

GPSで位置を記録しながら移動し、軌跡で文字や絵を描くGPSアートと、  
歩きながらの社会貢献活動(ゴミ拾い)をコラボ。



・11月12日(土), 13日(日)  
仙台, 石巻, 岩沼市内で実施  
(プロのGPSランナーを招聘)



完成したGPSアート

## ③ YouTube動画広告

6秒, 15秒のバンパー広告を配信。  
減塩, 運動, 歯, 受動喫煙など,  
YouTubeから県HPへ誘導・普及。



(12月1日~3月末まで,  
総計160万回配信予定)



【Webの活用, Twitterとも連動】

## ④ 仙台市内アーケード内 大型ビジョンでの動画広告

・マーブルロード大町  
(藤崎前)の大型ビジョン  
に①の動画を投影・普及。



(1日12回×1カ月間)

## ⑤ ラジオ(FM仙台)での スポットCM

FM仙台とタイアップし「みやぎ食育推進月間」  
をPR。

・「みやぎ食育月間」(11月)  
伊達武将隊ボイスによる20秒CM  
月間で50本を放送



「伊達政宗である。  
今月は宮城食育推進月間、  
食事は栄養バランスを考えて  
食べるがよい。塩も控えめに！」



## ⑥ テレビ・ラジオ 生活情報 番組とのタイアップ

テレビ:東北放送「サタデーウォッチン！」(土曜日)  
ラジオ:FM仙台「エアジャムフライデー」(金曜日)  
とのタイアップで脱メタボの情報発信!



「サタデーウォッチン」  
・令和5年3月4日:「みやぎベジプラスメニュー」  
商品化発表会+スタジオ生放送



入賞作品紹介や製作者インタビュー

スタジオでの美食や  
販売店紹介

「エアジャムフライデー」  
・11月~令和5年2月(毎月1回)  
「健康3.15.0宣言」  
~AJF的・脱メタボへの道~  
本間秋彦氏と有識者とのトーク



## ⑦ 地下鉄仙台駅 構内広告

通勤中, 仕事中の働き盛り世代へ  
脱メタボをアピール。

地下鉄仙台駅  
改札内2か所に  
大型広告を掲示。  
(12月~3月)



## ⑧ 健康づくり優良団体等表彰式

・令和5年2月:「健康づくり優良団体」,  
「歩数アップチャレンジ入賞者」,  
「みやぎ食育表彰」等の表彰式を実施。  
→企業・団体の優れた取組を奨励・拡大





## 令和4年宮城県県民健康・栄養調査実施状況について (粗集計段階)

### 1 調査の目的

本調査は、宮城県民が生涯を通じて健康で自立した生活を送れるよう、県民の健康づくりに関する意識や食生活、運動等に関する実態や課題を把握し、「第2次みやぎ21健康プラン」の目標値の達成度を評価するとともに、次期計画の基礎データとし、県の健康づくり施策に反映させていくもの。

2 実施主体 宮城県

3 調査時期 令和4年10月～11月

### 4 調査対象

#### (1) 対象地区等

調査項目	県民健康調査及びBDHQ調査*	栄養摂取状況調査 (国調査と同じ手法、歩行数調査を含む)
対象地区	50地区	左記のうち19地区 (国民健康・栄養調査5地区を含む)
対象者	調査日現在に対象地区に居住する 満20歳以上の男女(2,210人)	調査日現在に対象地区に居住する満 1歳以上の男女(875人) *歩行数調査については満20歳以上(731人)

\* 簡易型自記式食事歴法質問票 (brief-type self-administered diet history questionnaire)

#### (2) 地区選定方法

##### イ 県民健康調査及びBDHQ調査

令和4年国民生活基礎調査対象地区をブロック(県各保健所・支所及び仙台市保健所各支所の管轄区分)に分け、ブロックごとに無作為抽出(層化クラスター抽出法)によって、50地区を抽出した。

##### ロ 栄養摂取状況調査及び歩行数調査

上記イの中から14地区を抽出し、令和4年国民健康・栄養調査対象地区の5地区を上乗せし19地区を対象とした。

ハ 各ブロックの調査地区の割振りは、人口に応じた配分を基本としながらも、ブロックごとに分析ができるよう、各ブロックの回答者数が男女ともにおおむね100人以上となるよう調整した。

### 5 調査協力状況

- (1) 県民健康調査 : 協力者 1,635 人 (協力率 74.0%)  
 (2) BDHQ調査 : 協力者 1,573 人 (協力率 71.2%)  
 (3) 栄養摂取状況調査 : 協力者 411 人 (協力率 47.0%)  
 (4) 歩行数調査 : 協力者 322 人 (協力率 44.0%)

## 6 調査項目及び調査方法

### (1) 県民健康調査及びBDHQ調査

県民健康調査：みやぎ21健康プランの関連項目等についての調査票

BDHQ調査：過去1か月間の食物摂取頻度に関する調査票

各調査票は各世帯に郵送で配布・回収し、未回収分のみ調査員により訪問回収を行った。また、電子申請システムでの回答を可能とした。(栄養摂取状況調査対象世帯については、(2)と同じ。)

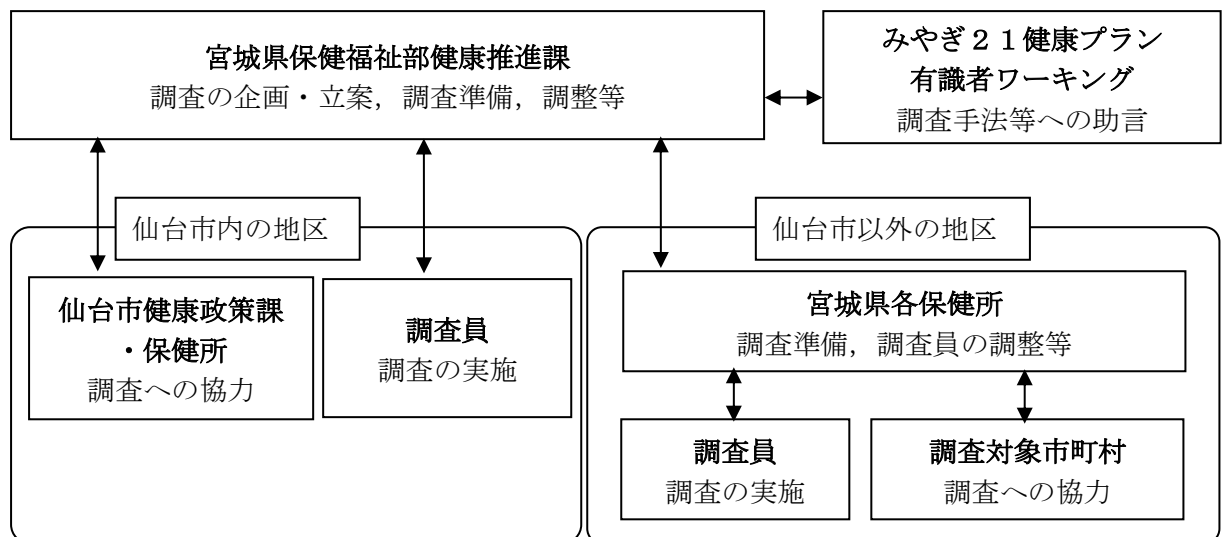
### (2) 栄養摂取状況調査及び歩行数調査

世帯状況、1日の食事摂取状況、1日の歩行数について、国民健康・栄養調査に準じた方法で調査を行った。(調査員が食事の記録や歩行数の記録について、対面で聞き取ることを基本とし、郵送回収も可能とした。)

### (3) その他

調査の実施にあたっては、調査員の健康管理記録やマスクの着用のほか、対面時間が長時間とならないよう配慮し新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。

## 7 調査体制



## 8 結果集計・解析

厚生労働省「都道府県健康・栄養調査マニュアル」を参考とし、みやぎ21健康プラン有識者ワーキングの指導・協力の下に実施する。

データの集計・解析については、令和4年度中に仙台白百合女子大学への委託により行っている。

結果については、令和5年度第1回みやぎ21健康プラン推進協議会後に公表する。

## 第2次みやぎ21健康プラン最終評価の方法について

最終評価は、目標項目延べ51項目、目標数85項目（再掲を含む）について、本協議会で承認いただいた方法で『みやぎ21健康プラン有識者ワーキング』にて御意見・御助言等をいただきながら実施し、令和5年度の本協議会で報告する。

### 1 目標に対する実績値の評価

「参考資料1 各目標項目の実績値の評価シート」により、目標の達成状況について5段階で評価を行う。評価に使用する値は、令和4年宮城県県民健康・栄養調査の結果や、各目標項目のデータソースの最新値とする。評価判定区分等については、下記のとおりとする。

<評価判定区分>

A	目標に達成した
B	目標値に達していないが改善傾向にある
C	変わらない
D	悪化している
E	評価困難

### 2 自治体及びスマートみやぎ健民会議の取組状況の整理及び評価

#### (1) 県・市町村の取組状況の整理・評価

策定時からこれまでの、県及び市町村の取組状況の整理を行う。取組状況の整理にあたっては、定期的（年1回）に実施してきた第2次みやぎ21健康プラン関連事業報告を活用する。また、新型コロナウイルス感染症による健康づくり事業への影響等について総括する。

#### (2) スマートみやぎ健民会議の取組状況等の整理・評価

健康づくりの推進の核と位置づけてきたスマートみやぎ健民会議の取組状況について、「参考資料3 スマートみやぎ健民会議の取組状況アンケート実施要領」のとおり参加団体を対象としたアンケートを実施した結果をまとめ、これまでの取組の整理及び評価を行う。

### 3 次期計画に向けた課題の整理

#### (1) 分野毎の達成状況や今後の課題等の整理（参考資料2 達成状況等まとめシートにより実施）

#### (2) 次期計画策定に向けた課題や方向性の整理

「第2次みやぎ21健康プラン最終評価」と「次期プラン策定」スケジュール

資料4

年	月	みやぎ健康プラン推進協議会	みやぎ21健康プラン 有識者ワーキング
R5	2月		<b>●ワーキング</b> ・令和4年県民健康・栄養調査の実施状況について ・最終評価の進め方について ・次期プラン策定スケジュールについて
	3月	<b>●協議会</b> ・みやぎ21健康プランの概要と関連事業について ・令和4年県民健康・栄養調査の実施状況について ・最終評価の方法について ・最終評価と次期計画策定スケジュールについて	
	4月	【委員改選手続き】	
	5月	↓	★各委員へ意見照会
	6月		<b>●第1回ワーキング</b> ・県民健康・栄養調査報告書（案）の検討 ・最終評価についての検討 ・目標値の見直しについての検討① ・次期プラン（骨子案）の検討①
	7月	<b>●第1回協議会</b> ・県民健康・栄養調査報告書（案）の確認 ・最終評価の確認 ・次期プラン（骨子案）の検討	<b>●第2回ワーキング</b> ・目標値の見直しについての検討② ・次期プラン（骨子案）の検討②
	8月	【委員改選】	
	9月		★各委員へ意見照会
	10月		<b>●第3回ワーキング</b> ・次期プラン中間案の検討
	11月	<b>●第2回協議会</b> ・次期プラン（中間案）の確認	
	12月	<パブリックコメント>	
	R6	1月	
2月		<b>●第3回協議会</b> ・次期プラン（最終案）の確認	
3月		<次期プラン策定>	

目標項目					
指標	目標値（令和4年度） （データソース）	策定時のベースライン値 （H22県民健康・栄養調査）	中間評価 （H28県民健康・栄養調査）	最終評価 （R4県民健康・栄養調査）	評価 （最終）
	指標と実績値を記載				5段階の 評価を 記載
分析とコメント	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■直近値VS目標値</li> <li>■直近値VSベースライン</li> <li>■経年的な推移</li> </ul> <p style="text-align: center;">などについて図表等を用いて分析・コメント</p> </div>				
調査・データ分析上の課題 ※調査分析をする上での課題や留意点がある場合に記載	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースラインから指標や目標値が変更・追加になっている項目</li> <li>・直近値の把握ができない場合のコメント</li> <li>・その他、課題や留意点があれば記載する</li> </ul> </div>				
最終評価総評	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標項目の目標値の達成状況について、上記分析を踏まえコメント</li> </ul> </div>				
目標値見直しの必要性及び 新目標値	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の見直しの方向性について、理由とコメント</li> </ul> </div>			新目標値（有・無）	
今後の課題と対策の抽出 ※最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイント	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対する実績値の評価結果から、今後強化すべき点を抽出する （注意）これまでの実績値の評価及びこれまでの取組を踏まえた今後の課題については、参考資料2に記載。</li> </ul> </div>				

## 達成状況等まとめシート

## 分野名

## 1 目標の達成状況

- -
- 参考資料 1 の結果から目標項目の達成状況を記載

項目	評価

## 2 取組の状況

- 各目標項目に関する取組  
➤ 分野全体に係る取組  
➤ その他関連する取組

## 3 今後の課題と対策

- 実績値の分析結果、達成状況、取組の状況等を踏まえ、今後充実・強化すべき取組を整理
- 健康調査から、新型コロナウイルス感染症拡大による生活習慣の変化による影響を受けていると想定される分野については、その状況について言及する。

●新型コロナウイルス感染症拡大に伴う取組への影響については、一括して整理する。

## スマートみやぎ健民会議の取組状況アンケート実施要領

### 1 目的

「スマートみやぎ健民会議」は、平成27年度に産官学連携した健康づくりの推進と、全ライフステージを通じた切れ目の無い支援体制づくりを目指し設立され、本県の健康づくり推進体制の核となっている。

「スマートみやぎ健民会議」設立以降の会員団体及び応援企業等の活動状況を把握するとともに、県の取組み評価を行い、次期計画策定と今後の取組強化に向けた参考資料とするため実施するもの。

### 2 実施主体 宮城県

### 3 実施時期 令和5年2月～3月

### 4 対象者

スマートみやぎ健民会議会員、応援企業及び庁内関係各課室・公所

### 5 アンケート内容

#### (1) 一般会員向け

活動の充足度、活動できていないと感じている理由、団体内的変化、県の取組評価、県民運動としての評価、体制強化のために必要なこと、今後取り組んでみたいこと、自由意見、コロナ禍に実践した取組

#### (2) 応援企業向け

活動の充足度、活動できていないと感じている理由、県の取組評価、県民運動としての評価、応援企業体制の強化に必要なこと、今後取り組んでみたいこと、自由意見、コロナ禍に実践した取組

#### (3) 県庁舎内関係各課室（保健福祉部は地方公所を含む）向け

健康につながる活動の有無、活動事例の収集、健康づくり体制の強化に必要なこと、今後取り組んでみたいこと、自由意見

### 6 実施方法

メール又は郵送で依頼し、電子申請システムにより回答を受け付ける。

【一般会員用】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1676332903742>



### 7 結果の公表について

スマートみやぎ健民会議のこれまでの取組として、第2次みやぎ21健康プラン最終評価報告書に掲載する他、県ホームページで公表する。

（自由記載欄については、同意のあった場合のみ公表。）

## 宮城県及び仙台市における生活習慣病予防に関する課題への取り組み状況調査要領

## 1. 目的

宮城県及び仙台市の健康づくり関係の検討会に本会代表者が参加し、健康寿命延伸に向けた取り組みについて検討推進しております。その中で、宮城県栄養士会が生活習慣病予防に関して担う役割は大きいと考えております。本会が担う役割の重要性を関係者の皆様にご理解、再認識いただき、今後の様々な事業協力依頼に貢献するため、まず現状を把握する必要があります。

そこで、会員の宮城県及び仙台市の健康課題に関する取り組み状況を調査し、今後の検討会で示し、さらには、会員一人一人が健康課題を意識した取り組みにつなげていくものです。

## 2. 実施者 宮城県栄養士会

## 3. 対象者 宮城県栄養士会会員

## 4. 内 容

会員が、添付資料①、②を踏まえ、令和4年11月1日～12月10日に実施した取り組みを「宮城県及び仙台市における生活習慣病予防に関する課題への取り組み状況」記入シートに記入し、集計したものを宮城県及び仙台市健康づくり関係検討会に提示する。

## 5. 提出期日： 令和4年12月16日(金) 午後5時

## 6. 提出方法： ファックス(FAX 022-261-5912)

## 7. 添付資料

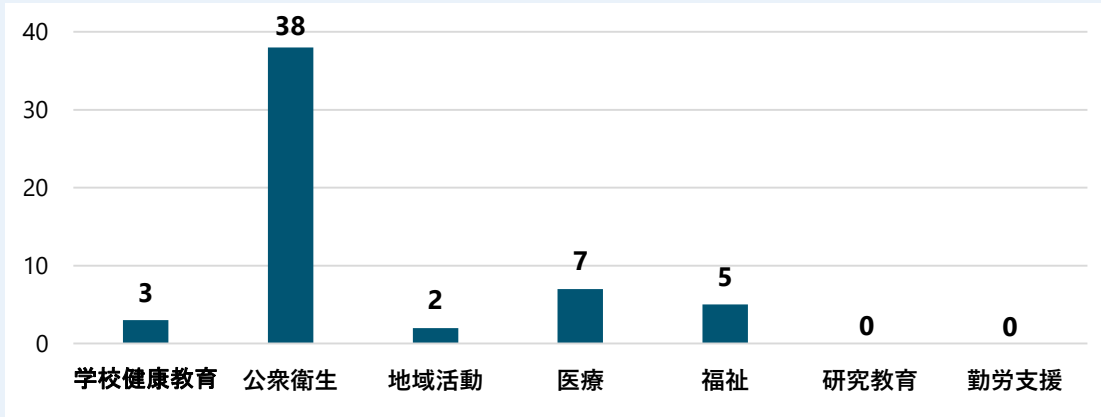
- ①宮城県民の健康と食生活に関する状況
- ②仙台市民の健康実態と健康課題
- ③記入シート



# 宮城県及び仙台市における生活習慣病予防に関する課題への宮城県栄養士会会員の取り組み状況

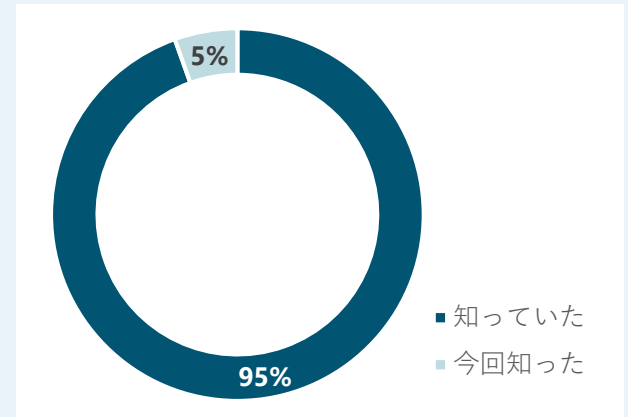
実施期間：2022年11月1日～12月10日

## 01 回答数



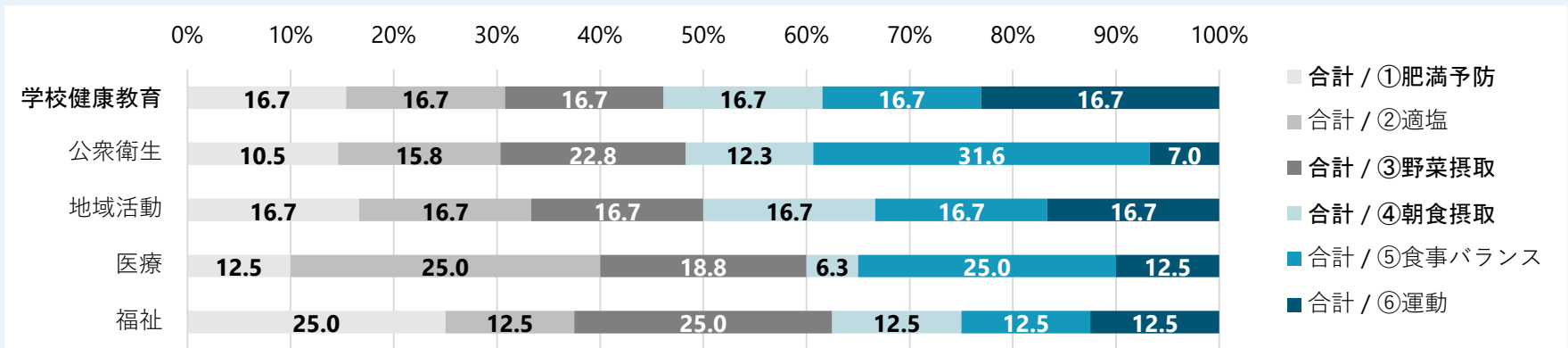
▶ 回答職域は7職域中5職域。合計55回答。

## 02 健康課題の認知度



▶ 認知している人が95%であった。

## 03 取り上げた健康課題



▶ 職域毎に最も多く取り上げた健康課題は医療：「適塩」「食事バランス」、公衆衛生：「食事バランス」、福祉「肥満予防」であり、学校教育と地域活動は全課題均等に取り上げる傾向であった。

## 04 対象者

### 医療

- ▶ 金成南地区住民
- ▶ 外来・入院患者

糖尿病  
脂質異常症  
肥満  
高血圧症  
腎臓病  
糖尿病性腎症  
心臓病

### 学校健康教育

- ▶ 65歳以上高齢者
- ▶ 学生
- ▶ 小学校低学年  
親子

### 公衆衛生

- ▶ 幼児と保護者
- ▶ 乳児と保護者
- ▶ 介護保険サービス利用者
- ▶ HbA1c有所見者
- ▶ 中学生・高校生
- ▶ 地区協議会会員
- ▶ 食生活改善推進員
- ▶ 地域住民

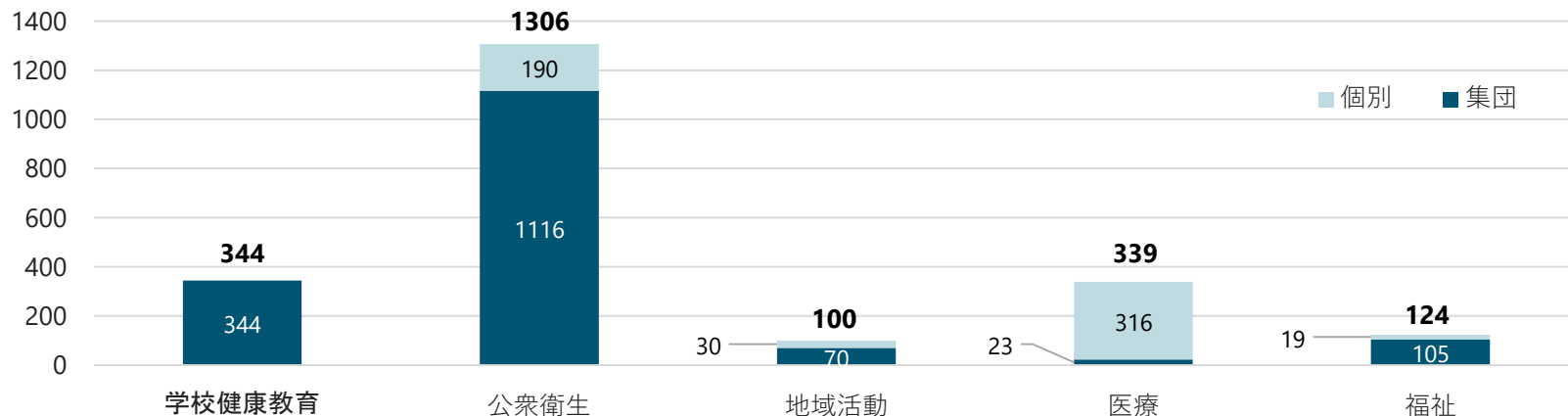
### 地域活動

- ▶ 地域住民
- ▶ 幼児健診相談者

### 福祉

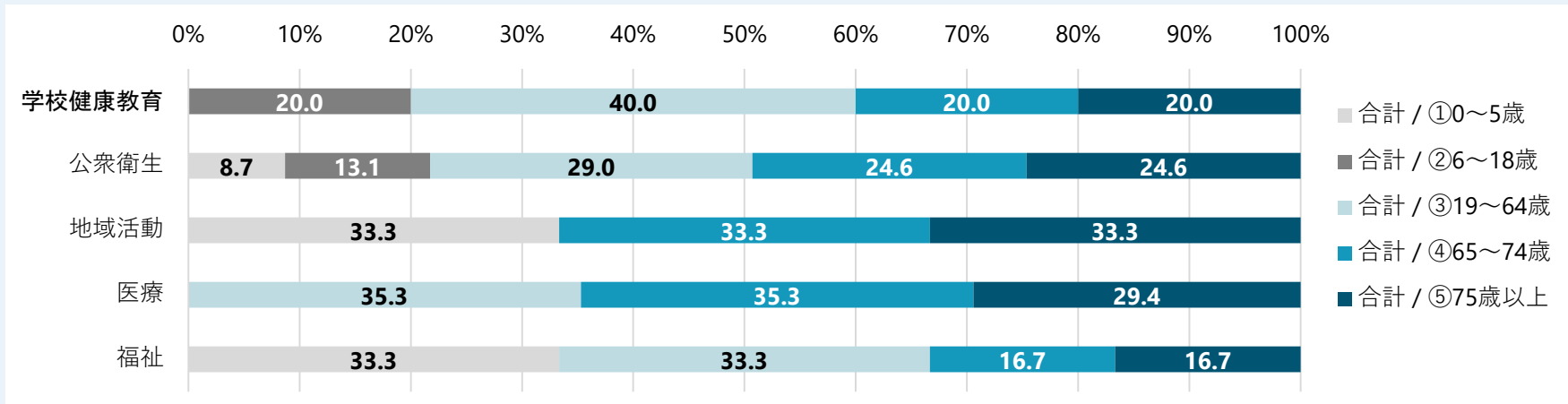
- ▶ 5歳児
- ▶ デイサービス利用者
- ▶ 保育所児童の保護者
- ▶ 青葉区在住  
30~50代女性

## 05 対象人数



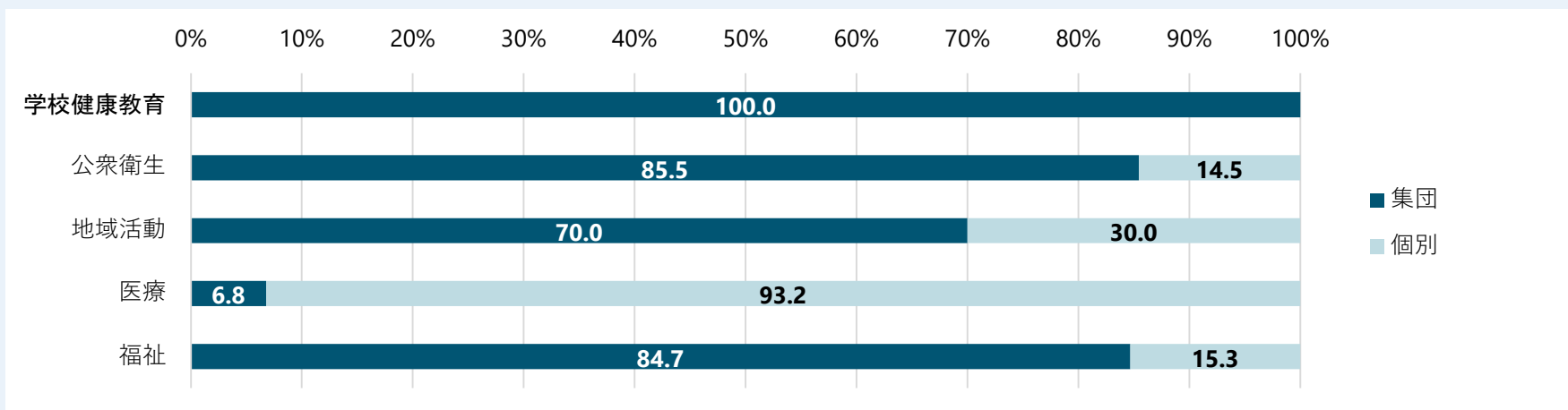
▶ 対象人数は全職域合計2213人であった

## 06 対象者の年代



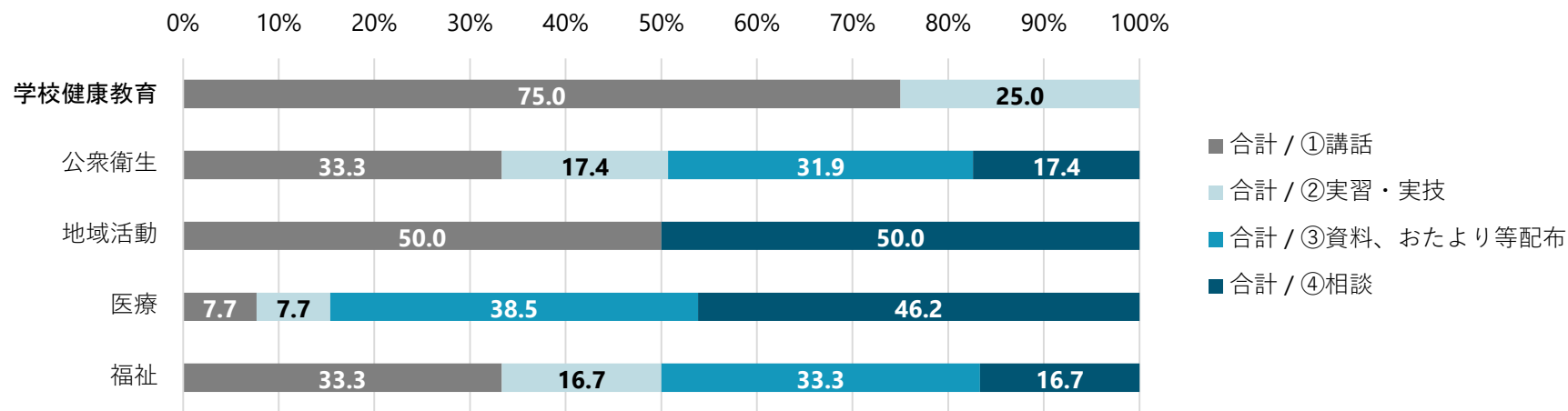
▶ 地域活動・医療は65歳以上の高齢者とのかかわりが多く、学校教育・公衆衛生・福祉は幅広い年代とかかわりがあった。

## 07 対応形式（個別・集団）



▶ 医療職域は主に個別のかかわりが多く、その他の職域は集団でのかかわりが多い傾向であった。

## 08 実施形式



▶ 医療・公衆衛生は様々な形式で行っているが、学校教育・地域活動・福祉は一定の形式で行っている傾向であった

### 学校健康教育

- ▶ 健康的な生活習慣の啓発、親子でできる運動を行い、親子で健康について考えるきっかけづくり。
- ▶ 働き盛り世代への働きかけとして親子を対象とし冬場の学校の授業に合わせ縄跳びをメインとした運動を実施。
- ▶ 学生の講義

### 公衆衛生

- ▶ 「働き盛り世代の健康づくり」～特定健診の結果を生活にいかそう～ ▶ 健康運動指導士による講話と実技
- ▶ 地元スポーツクラブのサークルや教室の紹介をして、継続につなげられるよう活動紹介資料を配布

### 地域活動

- ▶ フレイル予防の講話の中で減塩についてや野菜摂取について取り入れて啓発した
- ▶ 幼児健診において肥満の児に対して、バランスの良い食事についてや野菜の摂取の仕方・運動の習慣等について

### 医療

- ▶ バランスの良い食事について、血糖コントロール、減塩の必要性・方法について
- ▶ 食事療法の目的・ポイント・基本（主食・主菜・副菜）について
- ▶ 減量、たんぱく質やカリウム制限、栄養素量計算方法

### 福祉

- ▶ 秋～冬が旬の野菜の摂取のよびかけ、保育所の子供の肥満の現状と対策について（給食だより）
- ▶ 30～50代の女性の健康づくりと骨粗しょう症予防、外部講師によるチェアピラティス
- ▶ 早寝・早起き・朝ごはんについて（紙しばい） ▶ 食事内容評価・相談、採血データ確認、InBody（体組成）測定

## 10 参加者の反応（一部抜粋）

### 学校健康教育

- ▶ 大変反応良く、皆素直にきいていた様子。食事の大切さを改めて理解された様子であった。
- ▶ 保護者も縄跳びを利用した鬼ごっこなどで楽しく運動している様子がみられた。
- ▶ 親子ともに楽しかった、家庭でもやりたいという回答が得られた。

### 公衆衛生

- ▶ 健診結果やナトカリ比など数値を気にしている方が多かった。
- ▶ 講話は問いかけによく答えてくれたり、楽しんで聞いている方が多く、気づきに繋がっている様子でもあった。
- ▶ 実技では「無理なくできそう」とう声や、自宅で実践してみるという方が多く、久しぶりの交流を楽しんでいた。

### 地域活動

- ▶ フレイル予防に参加する高齢者はもともと食生活については気を付けている方が多かったが、詳しく講話する中で気づきもあったようであった。

### 医療

- ▶ 塩分のとりすぎに驚いていた。「塩分を意識していなかったため気を付けなければ」と改める発言があった。
- ▶ 「外食やコンビニでのメニューの選び方が理解できた」「野菜の摂取量が少ないと実感した」と発言があった。
- ▶ 治療に前向きになる方、食事や栄養に興味をもち継続栄養指導を希望される方が多い。

### 福祉

- ▶ 1人で健康課題に取り組むのではないため、客観的に食生活等を見直すことができモチベーションがUPしていた
- ▶ 講話をメモをとりながら熱心に聞いていた様子であった。
- ▶ チェアピラティスに集中し運動しており「気持ちよかった」「毎日やってみようと思う」等の感想があった。

## 11 感じられた効果・今後の課題（一部抜粋）

### 学校健康教育

- ▶ 健康話題について折にふれ継続して話をしていくことが大切である。
- ▶ 講座により運動習慣の継続への意欲向上が感じられた。運動内容は改めて検討が必要である。
- ▶ 健康課題が多い働き盛り世代への働きかけを継続していく必要がある。

### 公衆衛生

- ▶ 1回だけの相談や講話ではなく、継続して関わるのが大切である
- ▶ 幼児健診では家族の食生活が大きく影響するため家族全体での改善につながるよう個別指導が大切である
- ▶ 実技では「無理なくできそう」とう声や、自宅で実践してみるという方が多く、久しぶりの交流を楽しんでいた。

### 地域活動

- ▶ 1回だけの相談や講話ではなく、継続して関わるのが大切である。
- ▶ 幼児健診では家族の食生活が大きく影響するため家族全体での改善につながるよう個別指導が大切である。

### 医療

- ▶ 退院後の経過確認のために外来で継続して関わる必要がある。栄養食事指導は継続し繰り返し行う必要がある。
- ▶ 栄養食事指導により食事療法への意欲向上や病期の進行を遅らせることができていると思われる。
- ▶ 食品成分表の活用が重要。栄養士会でも栄養指導の1つの方法として食品成分表の活用を推進すべきと考える。

### 福祉

- ▶ 講話だけでなく参加者の興味をひきやすい運動実技を取り入れると集客につながると感じている。
- ▶ 調査結果のまとめと対象者の現実にタイムラグがあるため集団指導より個別指導のほうが効果的と考える。
- ▶ 要支援・要介護者対象の場合、個々のADLに合わせた指導が必要なためアセスメントが重要である。